

支部だより

支部展特集

つたように感じました。
 高いレベルで会場を盛り上げてくれました。現役組では森屋代表を筆頭に石原修(共に安定した人気)片桐金治郎(地元だけにファンが多い)がそれぞれの場を引き締めていました。

人物の平位信子、海外風景の熊尾清孝、静物の福井千鶴子、四季の風景福元由紀子等、年々腕が上がっているのを感じました。金田ちひろは介護で多忙な中、近くの公園を作品にしていました。

酒井久夫「相恋の瀧」いいですね。「この場所はどこにあるのですか?」問合せもありました。(福島県二本松です)...

梅津一晴 北三陸岸壁の陰陽(水彩)他 東日本大震災をテーマにした作品が地元へ寄贈する事になったとの話があり喜ばしい出来事でした。

遠藤年英 小宇宙石や貝を使った独自の表現を造り楽しい作品でした。

今回は常連組が五名程不参加で精彩を欠きましたので、次回に期待したいと思います。

今年も各支部より遠路多数のご来場をいただきましてありがとうございます。お礼申し上げます。

多摩支部展報告

支部長 宮嶋 ふみ子

第二八回支部展は立川市女性総合センターにて四月九日から四月一四日迄の六日間開催いたしました。今回の出展者は広範囲で長野県、八王子市、東村山市、立川市、日野市、町田市、国分寺市と搬入の際は、各人が大変でした。



作風多彩な顔ぶれ集結

作品の展示内容は油彩一一点、水彩四点、日本画二点、パステル二点、色鉛筆九点、特殊工芸一点、陶芸三点、工芸三点、樹脂粘土二点と作風が多彩で、おいでくださった方には楽しみながら廻っておられる様子でした。

中でも子供さんに人気だった村井さんの「小さな創作」は形や色を丁寧に書き写し「家で作るんだ」と意気込んでいました。又親御さんも「どこかで教わり子供に教えたい」と。本展の際のワークショップ等でそんな機会があればと作者と語りました。と同時に実現してほしいです。

締めくくりのパーティー会場では、和やかな談話やカラオケ等で来賓の方々と意志の疎通を図りました。

今回の反省点として入場者数が昨年より大分減少した事です。心当たりとして会場内の一部ドアの閉鎖(行政の決め事)等があり、隣りのホールとの人の流れが途絶えてしまった事によるものではないかと。仕方のない事ですので次年度は支部員の協力により(口コミ等)増員に期待する所です。

今回の支部展に際し代表を始め、多くの委員、会員の方々に遠路お越し頂きました事、紙面をお借りし御礼申し上げます。

栃木支部展を終えて

支部員 湯澤 朱美

第四回栃木支部展を、四月二三日〜四月二十八日までの



初出品者3名を迎えて

六日間、新緑が目にしみる青葉若葉のさわやかな、宇都宮文化会館にて開催致しました。皆さん明るく心地よいムードの中でのスタートと成り、連日多くの方々にお越し頂きました。会期中は鈴木事務局長他、本部委員の方々にご来館頂きまして心より感謝申し上げます。お陰様で約三百名の方々と交流を深める事が出来ました。出展者は三名加入しまして二十名に、作品は三十六点でした。全体的に見て、力強い作品が多く集まりました。来館者は風景画を見て、自分もその場にいるみたい等と、感想を述べていました。